

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和3年1月6日
1. 初期支援(はじめのかかわり)	メンバー	中川佑治 小池愛 若松健司 一色京子 中西暢久 石倉美生 大塚奈美子 種野千絵

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	6人	人	人	6人

前回の改善計画	急な利用の場合は事前の情報収集が不十分になってしまうこともあるが、引き続き可能な限り利用前に複数回、面談やアセスメントをする機会を設けて、利用者や家族・スタッフが互いに少しでも安心して関わられるようにしていきたい。また、利用者の状況に合わせて、訪問から慣れていただいたり体験も上手く活用していきたい。利用後はスタッフ間で情報共有できるよう細かく記録し、ミーティングやカンファレンスにて情報交換や関わり方等について話し合う機会を増やしていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	ケアマネジャーと管理者が複数回、面談やアセスメントをする機会を設けて、得た情報をミーティングやフェースシートを活用し情報共有はできている。利用者の状況に応じて利用の仕方も工夫して対応している。利用後は得た情報をさらに深めていけるよう、対応に活かせるよう話し合う機会を今後も増やしていきたい。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?		6			6
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?		6			6
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか?	1	5			6
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?		6			6

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
①利用前にケアマネジャーと管理者が複数回、面談等をし、家族や本人から情報を収集し、ミーティング時に伝えたりフェースシート等の記録を活用し開始前に分かる情報は共有している。②本人や家族が、現在困っていることや必要としていることを確認し、それを最優先に考え、個々にあった利用方法やサービス、ケア等を提供している。ケアの提供後は、記録に残し、次の支援につなげている。また都度、家族や本人の声を聴き、臨機応変に対応している。③慣れていない時期は、本人が不安にならないように積極的に声をかけたり、無理強いしないように対応している。また、訪問から様子を見て顔なじみの関係を作ったりと利用者によって工夫をしている。また、訪問から利用開始する利用者はケアマネジャーや管理者が初回のスタッフには同行し、家族や本人に紹介し、そこからスタッフへ任せる等配慮もしている。④送迎時や連絡帳、電話やメールを活用し、家族への報告をこまめにおこなっている。またケアマネジャーのモニタリングを通して関わる中で家族の想いをできるだけ伺えるよう何気ない話から自宅の様子まで様々な話をしている。内容によっては早急な改善や対応ができるよう努めている。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
②認知症で自分の想いを伝えられない方等は、家族のニーズ中心になっている部分があり、また本人が必要な事、家族が必要な事が全て一致する事はない。そのため、優先的な支援のあり方が家族のニーズ中心になっていることもある。ただ、在宅生活を支える為には、家族のニーズも支援していかないと難しいので、見極め、調整していく必要がある。③利用前に情報を共有しているが、関わり方に対してスタッフ間でまとまっていないことがある。また、よく声をかけて関わっているスタッフ、関りが少ないスタッフと個々のスタッフによって差もある。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
本人のニーズだけでなく家族のニーズも支援していかないと在宅生活を支えていくことは難しいが、引き続き、本人の意向も確認しながら、過剰なサービスになっていないかは、管理者、ケアマネジャー中心に検討していく必要がある。また、特に新規の利用については複数回、面談やアセスメントをする機会を設け、また、利用後も関わりを増やし、得た情報を他のスタッフと共有していき対応やサービスに活かしていきたい、	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和3年1月6日
2.「～したい」の実現 (自己実現の尊重)	メンバー	中川佑治 小池愛 若松健司 一色京子 中西暢久 石倉美生 大塚奈美子 種野千絵

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	5人	人	人	6人

前回の改善計画

各利用者担当のスタッフによって意識の差があるのが現状である。担当スタッフが個々の利用者のケアプランを意識して日々関わり、利用者がどういった想いなのかを日々確認していく。その中で他のスタッフと情報交換し、ケアや関わりを見直すためにも、ミーティング等で少しでも情報を発信し、ケアの振り返りをする機会を増やしていく。

前回の改善計画に対する取組み結果

各利用者の担当スタッフが、ケアプランを元に、現状の各担当利用者の想いや生活や前に比べてどうか、今後何が必要か等気づいたことを、毎月ケアマネジャーと評価し、スタッフ間で見れるようにし情報共有している。ケアや関わりを見直すためにミーティングや担当者会議をしているが、スタッフにより意見が出ないこともある。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標(ゴール)」がわかっていますか?		6			6
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?		6			6
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?		6			6
④	実践した(かかわった)内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?		3	3		6

できている点

200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

①②本人や家族との話や日々の関わりを元にケアプランを作成し、ケアプランにて目標を明確にしており、そのケアプランの内容は全スタッフが確認できる状態である。また担当者会議に本人や家族も参加するよう促し、参加できない場合も意見をもらうようにしている。モニタリングや日常のかかわりの中で利用者や家族の声を拾い出来る限りに添った対応やケアができるようにしている。③利用者から「～したい」という目標や希望はなかなか言葉ででてこないこともあるが、でてくればできる限りの対応やかかわりをしている。また、その人の習慣や行動から、「～したい」を考えながら、少しでも近づくように、日々関わりや支援をするよう努めている。④各利用者の担当スタッフが、ケアプランを元に、現状の各担当利用者の想いや関わったことで、知り得た情報や今後何が必要か等気づいたことを、毎月ケアマネジャーと評価し、スタッフ間で見れるようにし情報共有している。ミーティングで発言できていないスタッフもいるが、記入することで意見を言うことが出来ている。

できていない点

200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること

①～③ 利用者によってできている人、できていない人というのが現状である。利用者によっても声を発する方はわかりやすいが、本人の意向が掴みにくい方もいるのが現状である。また、目先の課題や問題点へのアプローチが先になってしまっていたり、日々の業務や利用者の対応に追われていることもあり出来ていないこともある。④スタッフによってミーティングでは意見が出ないこともあるが、上記のできている点でもあげた通り記入することで意見を出すことが出来ている。

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

ケアマネジャーのモニタリングや、スタッフが個々の利用者やケアプランを意識して日々関わり、利用者がどういった想いなのかを確認する。毎月の各利用者担当の評価を参考したりミーティング等の意見交換を通して情報共有やケアの振り返りをする機会を増やしていく。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和3年1月6日
3. 日常生活の支援	メンバー	中川佑治 小池愛 若松健司 一色京子 中西暢久 石倉美生 大塚奈美子 種野千絵

◆ 前回の改善計画に対する取り組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	6人	人	人	6人

前回の改善計画	<p>まだまだ各利用者の自宅での生活習慣を理解や把握できていない部分がある。各利用者をより知る為にも、興味を持って日々意識した関わりをしていく。また在宅での生活とホームでの生活が連動するためにも、スタッフ間でもっと話し合う機会を増やし、家族とも連携を図り日常生活の支援につなげていきたい。過介助や過剰なサービスにならないよう、都度、情報収集していきたい。</p>
前回の改善計画に対する取り組み結果	<p>まだまだ各利用者の自宅での生活習慣を理解や把握できていない部分もあるが、訪問時の様子やモニタリングで得た情報から、自宅での生活に近づけるために考えて支援やケアはできている部分はある。家族のニーズから過剰なサービスになってしまいう部分もあるが、在宅生活を支える点やホーム以外利用できない点から、仕方ない部分もある。</p>

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?		1	5		6
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?		6			6
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?		6			6
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?		5	1		6
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?		6			6

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>①フェースシート・ケース記録・モニタリング等の本人・家族・スタッフ間の情報にて生活環境を理解出来ていることもある。②極力、本人のペースに合わせながら、無理強いせず、かめやん家に対処可能な介護の提供は工夫しながら対応できている。また、本人の日々の状況や体調に応じて対応をかえたりスタッフ間で話をしケアを見直したり対応を統一するようにしている。③本人の表情や行動、しぐさ等により感じ取った本人の状態について、スタッフで気づいたことは共有し話し合いをしている。④日々、利用者を観察し、本人の気持ちや体調の変化に気づくよう関わり、スタッフ間で情報共有している。必要に応じて家族や看護師、医師等へも相談し、都度対応している。⑤その時々本人の状況に合わせて、気分転換の為に外出へ誘ったり、体調に応じて、訪問や泊まりサービスにて対応する等、関わりやサービスを臨機応変に対応している。</p>	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>①アセスメントしフェースシートやケースに記録はしているが、それが全てではなく、まだまだ知らないことも多い。生活習慣を10個以上と言われると把握できていない方もいるのが現状である。②～⑤その都度、即時的には完璧には出来ていないこともある。個々のスタッフの経験や気づきにも差があり、個々のスタッフの利用者への捉えかたの違いやスタッフ間での話し合いが不十分なものもある。また個々のスタッフで話ができても、ミーティングにてチームとして利用者の想いや声を言語化できていないこともある。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>昨年度と同様にまだまだ各利用者の自宅での生活習慣を理解や把握できていない部分がある。ケアマネジャーのモニタリングから情報を得たり、利用者に興味を持ち意識した関わりをしていく。また在宅での生活とホームでの生活が連動するためにも、スタッフ間でもっと話し合う機会を増やし、家族とも連携を図り日常生活の支援につなげていきたい。過介助や過剰なサービスにならないよう、都度、検証はしていきたい。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和3年1月6日
4. 地域での暮らしの支援	メンバー	中川佑治 小池愛 若松健司 一色京子 中西暢久 石倉美生 大塚奈美子 種野千絵

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	人	4人	2人	人	6人

前回の改善計画	利用者一人一人の地域も異なり、それぞれの今までの地域との関わりもある為、地域での暮らしに目を向けていくのは難しいが、その地域に利用者本人が暮らしているという事をスタッフがもっと認識し、意識する事で変わる部分もあると思われる。少しでも地域と連動して個々の在宅生活に必要な支援をするためにも、家族からの情報や元気なうちに本人との会話の中からでも自宅でのように過ごし、地域や友人とどう関わりがあるのかを情報収集し把握していきたい。
前回の改善計画に対する取組み結果	モニタリングや日々の関わりの中で、家族や本人から自宅での過ごし方や地域や友人とどう関わっているか情報収集はしているが、どこまで出来ているかまだまだ分からないことも多い。また、コロナウイルス感染症の拡大により、ホームとしても利用者としても地域や友人との関わりが制限されているため、情報収集は難しかった。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?		6			6
② 本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?		6			6
③ 事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?		4	2		6
④ 本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?		2	4		6

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
①全てにおいて理解や把握はできていないこともあるが、モニタリングや送迎時、日々の関わりの中で、家族や利用者となし、得た情報をもとに理解はできている部分もある。②利用者により地域との関わりは差はあるが、ホームで抱えこまないように、家族に任せれるところは任せたりと対応している。自身でも地域の百歳体操等に参加されている方や友人にサポートしてもらっている方もいる。地域との関係や家族との関係が必要な方の理解や見極め、それにやるサポートはできている。③訪問の対応が必要な方は、自宅での生活がある程度見えており把握している部分や本人や家族との会話の中から得ることができている。モニタリングの内容を細かく記録し、スタッフが閲覧できるようにしており自宅での様子がわかるように情報共有している。④地域の病院や薬局、訪問理美容等のサービスを活用していたり、地域住民の協力等で利用者を支えたりとしている部分もある。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
②ホームから遠い方ほど、本人の地域での活動が把握できておらず支援できていないことも多い。またコロナウイルス感染症の影響で地域との関わりは少なくなっている。利用者によっては、かめやん家での生活が中心となってしまっている方もおられ、ホームで抱え込んでしまっている部分もある。③実際に利用者が自宅でのように過ごしているのか、自宅での様子が見えにくい方もいる。利用者によっては家族からの情報でしかほとんど知ることができなく、どのように自宅で過ごしているのか生活スタイル等わからない方もいる。④ホーム長は把握できている部分はあるかもしれないが、現場のスタッフ間では関わる機会が少ないこともあり、本人の各地域の民生委員や地域資源等の理解や把握はできていないこともある。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
現在は、コロナウイルス感染症の拡大や利用者一人一人の地域やこれまでの地域との関わりも異なり、地域での暮らしに目を向けていくのは難しいが、その地域に利用者本人が暮らしているという事をスタッフがもっと認識し、意識する事で変わる部分もあると思われる。少しでも地域と連動して個々の在宅生活に必要な支援をするためにも、家族からの情報や元気なうちに本人との会話の中からでも自宅でのように過ごし、地域や友人とどう関わりがあるのかを情報収集し把握するよう意識していく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和3年1月6日
5. 多機能性ある柔軟な支援	メンバー	中川佑治 小池愛 若松健司 一色京子 中西暢久 石倉美生 大塚奈美子 種野千絵

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	5人	1人	人	6人

前回の改善計画	家族のニーズもあり、利用者によっては過剰なサービスになっている部分もある。本人の状況や在宅での生活を、都度アセスメントし、適切にサービスを提供できるようにしていく。また、自分たちだけでなく、家族も含め地域の協力や他のサービスも可能な限り利用し、個々の支援に活かしていきたい。また、利用者の大きな変化や目立つ行動だけでなく、小さな変化や細かな部分まで話し合いができていないため、もっと話し合う機会を増やし早急な対応を心がけていきたい。
前回の改善計画に対する取組み結果	必要に応じて利用者によっては訪問看護等を利用し個々の支援に活かしたり家族の協力を得ることが出来ている。地域の協力やその他の公的なサービス等はコロナウイルス感染症の影響もあり難しかった。利用者の小さな変化や細かな部分までの話し合いについてもコロナウイルス感染症の影響でミーティングを中止することもあったり日々の業務等もあり、まだまだできていない。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?		5	1		6
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?		6			6
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?		5	1		6
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	1	5			6

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
①かかりつけ医やリハビリ等の医療機関、訪問看護、薬剤師、訪問歯科、訪問理美容、福祉用具等を活用し在宅生活の継続を支えている。直接的な介護は、ホームが担う形になっているが、ご近所や家族の協力を引き出すよう働きかけている方もいる。利用者によって地域の百歳体操に参加したり地域住民の協力等で地域資源を活用している方もいる。②利用者や家族と話しをし、ニーズに応じてその人に合った「通い」「訪問」「泊まり」等の利用方法が妥当に提供出来ていると思う。③ミーティングや申し送り、カンファレンス、日々の記録等にて、スタッフ間で情報共有している。④出来る限りは行えている。本人の状態により、家族や本人と相談しながら、急な利用や通院対応、利用の変更にも対応し、その時々にあわせて、可能な限り柔軟に対応している。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
①医療機関や薬剤師、福祉用具等のサービス以外のボランティアや近隣住民、友人、町会、地域の自主事業等の、他の資源の活用ができていないことが利用者によってはある。また今年度はコロナウイルス感染症の影響もありさらに難しかった。②本来であれば、もっと本人の意向や希望に沿った対応が望ましいが、家族の意向や都合も考慮しないと疲弊してしまったり在宅生活が継続できなくなりうる為、サービスの見極めは難しい。③大きな変化や目立つ行動などは話し合いをし共有できているが、小さな事や変化に対しては話し合いが不十分であり共有できていないこともある。また変化に気づけていないスタッフもいる為、ミーティング等でもっと話し合い、情報共有をしていかないといいない。④利用者によっては本人のニーズか家族のニーズか分からなくなっていたり、家族のニーズに合わせた支援になっている方もいる。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
利用者によっては、必要に応じて訪問看護等の他のサービスを利用し個々の支援に活かしたり家族の協力を得ることが出来ている。地域の協力やその他の公的なサービス等はコロナウイルス感染症の影響もあり、現状は難しいこともあるが、今できている他のサービス担当者との横のつながりを大切にすることや、話し合いや情報共有の機会を増やし、利用者の状態に合わせて対応や支援をしていきたい。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和3年1月6日
6. 連携・協働	メンバー	中川佑治 小池愛 若松健司 一色京子 中西暢久 石倉美生 大塚奈美子 種野千絵

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	人	4人	2人	人	6人

前回の改善計画	昨年に引き続き、地域との会議や運営推進会議、外部の連絡会等に管理者以外のスタッフが参加できていないため、可能な限りシフト調整し、スタッフが参加する機会を増やしていく。サービス担当者会議は事業所以外の方や本人に関わる様々な方に参加してもらえるよう、引き続きアプローチしていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	今年度は地域の会議や行事、外部との連絡会等は新型コロナウイルス感染症の影響もあり、ほとんど開催や参加できていない。サービス担当者会議は可能な限り開催し、本人にかかわる様々な方へ参加してもらうようアプローチはしている。参加できなくても照会や通院、訪問時に確認している。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか？		4	2		6
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？			4	2	6
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか？		1	3	2	6
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？			4	2	6

できている点	200字程度で、できていること、その理由を記入すること
①少しずつではあるが、医師や看護師、福祉用具の担当者等にも参加を促し、開催することが出来ている。出席できない時には、照会にて意見をいただいている。必要に応じて薬剤師の参加や歯科等には、随時、意見をいただいている。②例年はホーム長中心に町会の会議に参加している。③例年は地域開催の避難訓練や防災等の取り組み、夜警への参加。保育園児との交流会の開催、小学校の行事、地域のふれあいサロン・喫茶等の交流の場に参加している。④つどいで関わるようになった地域の高齢者の方が、ホームの花壇の手入れをしたりと協力を得ることはできている。また、例年は毎月かめやん家のつどいを開催し、近隣の住民が参加している。また、日頃の挨拶だけでなく言葉のやりとりもあり良い雰囲気づくりや交流ができています。保育園や小学校の行事等への参加もしている。	

できていない点	200字程度で、できていないこと、その理由を記入すること
①医師の参加は難しいことが多く、照会にて意見をいただいている。また他のサービス機関や担当者でも日程が合わないときは照会にて意見をいただいている。②～④今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で地域の会議や行事、ホーム内でのつどい等の地域向けイベントは開催や参加できなかった。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
今年度は地域の会議や行事、外部との連絡会等は新型コロナウイルス感染症の影響もあり、ほとんど開催や参加はできていないが、今後、落ち着いていけば、今までできていたことが継続できるように再開に向けた準備はしていきたい。また、何もできない、しないではなく、できることを見つけていきたい。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和3年1月6日
7. 運営	メンバー	中川佑治 小池愛 若松健司 一色京子 中西暢久 石倉美生 大塚奈美子 種野千絵

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	5人	1人	人	6人

前回の改善計画	ボランティアの受け入れはしているが、まだまだ知識や理解は不十分なので、勉強会をし理解を深めていく。管理者やケアマネジャーを中心に、日常業務やミーティング時に全てのスタッフが意見や提案をしやすい雰囲気や環境を作っていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	ポイント事業でのボランティアの方の受け入れは現状できていないが、地域の方が花壇を手入れしたりと協力は頂いている。勉強会は開催できていない。個々のスタッフが管理者やケアマネジャーへ相談したり、話しをしたりしているが、ミーティング時に全てのスタッフが意見や提案をしやすい雰囲気作りはまだまだ不十分な部分もある。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?		5	1		6
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?		6			6
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?		6			6
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?		3	3		6

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
①日頃よりコミュニケーションをとり、情報や意見を交換し、その都度、日常的にもホーム長やケアマネジャーと話や相談し、またミーティング等で課題を見つけ意見を出すことができている。②苦情や意見は、ホーム長を通じて、すぐに当事者に確認し対応している。③地域の方からの意見や苦情等、都度、早急に対応している。④例年は毎月、かめやん家のつどいを開催し、講座の実施や物づくり、催し物を開催したり、ホーム長とスタッフが町会の会議の出席や夜警、訓練等、都度、参加をしたり、ホームの避難訓練にも地域の方に協力いただいている。また、AEDの設置や福祉避難所の協定(行政、町会、施設間の三者協定)を結んでいる。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
①まだまだ先輩、後輩、新人、ベテラン職員に限らず、日常業務やミーティング等で意見を出しやすい雰囲気や環境作りは必要である。積極的に話をするスタッフと話しをするのが苦手なスタッフとがいる中で、現場としてまとまった意見に偏りがある。②この1年くらいは苦情に関してはなかったもので評価しにくい部分はあるが、頂いた意見はホーム長・ケアマネジャーが窓口となり対応し、報告書やケースへ記録し情報共有しているが、認識が甘く見過ごしている部分もある。③コロナウイルス感染症の影響もあり、積極的な地域と協働した取組みはできていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
コロナウイルス感染症の拡大により地域と協働した取組みや積極的なボランティアの方の受け入れは現状できていないが、状況を見て対応ができるよう準備はしていきたい。よりよい職場になるよう、個々のスタッフが管理者へ相談や提案できるよう、今後も言いやすい環境や雰囲気作りをしていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和3年1月6日
8. 質を向上するための取組み	メンバー	中川佑治 小池愛 若松健司 一色京子 中西暢久 石倉美生 大塚奈美子 種野千絵

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	3人	3人	人	6人

前回の改善計画

外部研修については、できる限りシフトを調整し、スタッフが参加できる体制を作っていきたい。また、研修の案内があれば周知し、各スタッフがどういった研修や学びに興味があるのかを把握し参加できるようにしていきたい。ヒヤリハットや事故については、個々のスタッフで意識の差がまだまだある為、スタッフ間で話し合いやケアの見直しを行い、その時だけに終わらないよう継続していく。またスタッフ間で意見交換をする事で個々の意識を高めていきたい。

前回の改善計画に対する取組み結果

今年度はコロナウイルス感染症の為、外部研修の開催が中止になったり、zoomでの研修になり参加できないことが多かった。ヒヤリハットについては、スタッフからの報告も増えており、また、話し合いやケアの見直しも以前より定期的にできている。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか		3	3		6
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか		1	3	2	6
③	地域連絡会に参加していますか		1	2	3	6
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか		6			6

できている点

200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

①②二ヶ月に1回、職場内で研修を実施している。それ以外にも必要に応じて実施している。また、外部の講師(訪問看護、薬剤師)を招き実施することもある。③例年はホーム長やスタッフが地域の防災の集りに参加しているが、今年度は開催が無かった。他の施設との連絡会へはホーム長が参加し必要な情報はスタッフへ伝えている。④担当者を置き、ヒヤリハットや事故についてまとめたものを、月1回定期的に話し合いを実施している。また、事故についても、都度、検証して対応している。

できていない点

200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること

①②職場外研修等はコロナウイルス感染症の為、開催が中止になったりzoomでの開催となり参加できていない。③他の施設との連絡会等は、可能な限りホーム長が参加しているが、コロナウイルス感染症の為、今年度は開催が少なかった。④スタッフによって意識や危機感にも差があり、同じことを確認してもヒヤリハットの報告が出なく見過ごされている場合がある。

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

今年度はコロナウイルス感染症の為、外部研修の開催が中止になったり、zoomでの研修になり参加できないことが多かった。今後は、zoomでの研修も参加できる環境作りやスタッフのシフト調整をし、外部研修に参加していきたい。事故やヒヤリハットについては、都度ミーティング時に話し合い、対応やケアの見直しを行い、大きな事故につながらないように引き続き取り組んでいく。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和3年1月6日
9. 人権・プライバシー	メンバー	中川佑治 小池愛 若松健司 一色京子 中西暢久 石倉美生 大塚奈美子 種野千絵

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	人	6人	人	人	6人

前回の改善計画	引き続き、虐待や不適切ケアにならないよう、勉強会を定期的実施する。認知症についても理解を深める事ができるよう勉強会を実施し、自分たちのケアや関わりを振り返り検証していきたい。業務や利用者の対応で忙しいことはあるが、利用者から声をかけやすい雰囲気や環境作りをしていきたい。また、適切に利用できるよう成年後見制度の勉強や個人情報についても勉強する機会を作っていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	虐待や不適切ケアにならないよう勉強会を実施し、意識や理解はしている。ただ時間とともに意識が薄れていることがある。また、日々の業務が忙しくなると、利用者から声をかけやすい雰囲気になっていなかったり、ついスピーチロックが出てしまっていることもある。それは利用者には関係のないことであり、認知症の症状を理解し、スタッフが自分達のケアや関わりを振り返り検証する機会をもっと作っていく必要がある。また、各スタッフが自己の感情をコントロールできるようにしていく必要や不適切な対応をしている時は互いに注意していく環境作りも必要である。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 身体拘束をしていない	6				6
② 虐待は行われていない	5	1			6
③ プライバシーが守られている		6			6
④ 必要な方に成年後見制度を活用している	1	4		1	6
⑤ 適正な個人情報の管理ができている		6			6

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
①②基本的に身体拘束、不適切ケアや虐待等についての意識はしっかりとっており、身体拘束や虐待のないケアを行なっている。どうしてもセンサーマットが必要な時はスタッフや家族と相談し、理解を得てから対応している。スピーチロック等の不適切ケアについても研修を通じてスタッフ間で話し合いをし理解を深めている。③トイレ等は、本人に合わせ、羞恥心などに配慮し声かけしている。入浴時は同姓介助で対応している。④現在活用している方はいない。⑤個人のケースや保険証等の個人情報は事務所の鍵つきの棚にて保管している。名前の記載している書類や薬袋はシュレッダーにかける等、対応している。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
①②利用者の安全面を配慮する時やスタッフが忙しくなっているときに、「ちょっと待って。」「座って」等のスピーチロックが出てしまうこともある。まだまだ認知症に対しての理解不足の面もあり、利用者の言動や行動に対して、言い方がきつくなってしまっていることもある。③⑤フロア内でスタッフの声かけやスタッフ間の申し送りや何気ない会話が他の利用者に聴こえてしまっている事やさりげない対応ができておらず、配慮が足りていないことがある。④家族がいる方は、どこまで必要なのか判断が難しいこともある。また、一部のスタッフは成年後見制度を理解しており、説明できるが、理解しておらず説明ができないスタッフもいる。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
引き続き、虐待や不適切ケアにならないよう、勉強会を定期的実施する。業務や利用者の対応で忙しいことはあるが、利用者から声をかけやすい雰囲気作りをし、また、認知症の症状を理解し、スタッフが自分達のケアや関わりを振り返り検証する機会をもっと作っていく。同時に各スタッフが自己の感情をコントロールできるようにしていく必要や不適切な対応をしている時は互いに注意できる環境作りをしていく。	